

## 令和6年度第2回湯沢町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時	令和6年12月23日(月) 15:00~16:15
場所	湯沢町役場3階 大会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について</li> <li>・議題2 利便増進計画の策定について</li> </ul> </li> <li>3. その他</li> </ol>
出席者	所属・役職・氏名(敬称略)
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯沢町長 田村 正幸</li> <li>・湯沢町 健康福祉部 福祉介護課長 南雲 重幸</li> <li>・湯沢町 子育て教育部 子育て支援課長 田村 美和子</li> <li>・新潟県 交通政策局 交通政策課長 高橋 徹臣</li> <li>・新潟県 南魚沼地域振興局 地域振興監 太田 正之</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 越後湯沢駅長 中島 宏明</li> <li>・北越急行株式会社運輸部 部長 桑原 信之</li> <li>・南越後観光バス株式会社 取締役乗合部長 川上 洋一 (代理) 課長補佐 関 正太</li> <li>・湯沢町タクシー協会(ゆざわ魚沼タクシー(株) 営業部長) 深井 静男</li> <li>・湯沢町 地域整備部 建設課長 田村 康大 (代理) 建設課主任 田村 翔</li> <li>・国土交通省 北陸地方整備局 新潟運輸局 主席運輸企画専門官 塩原 隆太郎</li> <li>・国立大学法人長岡技術科学大学 都市交通研究室 教授 佐野 可寸志</li> <li>・大字三国代表町内会長 綿貫 富雄・大字神立代表町内会長 笛田 道夫</li> <li>・南魚沼警察署 交通課長 吉田 健一</li> <li>・南越後観光バス株式会社 労働組合執行委員長 庭野 光正</li> <li>・一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構代表理事 岡 淳朗</li> <li>・社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会事務局次長 角谷 洋</li> <li>・湯沢町商工会 事務局長 児玉 幸一</li> <li>・一般社団法人 雪国観光圏 専務理事 杉山 光洋</li> </ul>
欠席者	<p>(欠席)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯沢町子育て教育部教育課 部長兼課長 南雲 剛</li> <li>・株式会社エンゼル観光本社営業所 所長 高橋 哲也</li> <li>・国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所 計画課長 水口 直人</li> <li>・新潟県 南魚沼地域振興局 地域整備部 計画調整課長 新保 良勝</li> <li>・国土交通省 北陸地方整備局 交通政策部 交通企画課長 新倉 孝礼</li> <li>・大字三俣代表町内会長 高橋 和男・大字土樽代表町内会長 南雲 和幸</li> <li>・大字湯沢代表町内会長 林 英治</li> <li>・東日本高速道路株式会社新潟支社湯沢管理事務所 副所長 阿部 公博</li> </ul>

内容	
(1. あいさつ)	
事務局	<p>ただ今から令和6年度第2回湯沢町地域公共交通活性化協議会を開催いたします。本日の協議会については、過半数以上の出席をいただいていることから、規約に基づき会議が成立していることを報告します。</p> <p>本会議は規約により原則公開で行うこととしておりますが、議事の内容によっては非公開とすることもできます。事務局といたしましては本日の内容は公開して差し支えないと考えておりますが、本日は公開でよろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
事務局	<p>それでは、本日の会議は公開とさせていただきます。本日は傍聴者1名が傍聴されます。それでは会長の田村よりご挨拶を申し上げます。</p>
田村会長	(あいさつ)
(2. 議事)	
事務局	<p>次第2、議事以降は、協議会規約に基づきまして会長から進行いただきます。</p>
(議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について)	
田村会長	<p>議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>以下の資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 地域移動環境計画に基づく各種施策の進捗状況について</li> <li>・別紙【土樽線】運行ルート・時刻表・運賃</li> <li>・別紙(湯沢町地域移動環境計画) 施策の推進状況</li> </ul>
田村会長	<p>今ほど、事務局から説明のありました議題1 地域移動環境計画に基づく各種施策の推進状況について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
佐野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3点教えてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①土樽線について、湯沢駅から土樽行きと土樽から湯沢駅行きで人数に大きく差があるが要因がわかれば教えてください。</li> <li>②土樽線について、乗車人数を運行1便あたりで平均してみると、運行車両のサイズが大きすぎると思われるが、その点はどうでしょうか。</li> <li>③土樽線の16時台だけ土樽から湯沢駅行きのみとなっているがなぜそうしたのでしょうか。</li> </ul> </li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①については、土樽から湯沢駅行きの朝の便に湯沢学園に登校する生徒が多く乗車していることが大きな要因です。</li> <li>・ ②については、ジャンボタクシーでの運行なども検討しましたが、マイクロバスで運行した際の経費と比べて差がないということや、通学に利用する子供たちが確実に乗車できるように配慮したことから、現在の車両サイズ(マイクロバス23~27席)で運行をしているところです。</li> <li>・ ③については、16時台の湯沢駅から土樽行きの便をスクールバスとして運行している関係で、その折り返し(土樽から湯沢駅行き)のみを路線バス扱いにしているものです。</li> </ul>

杉山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いくつか教えてください。</li> <li>①土樽線について、湯沢学園の通学生徒を除いた一般利用だと、昼の便の利用者が一番多いという話でしたが、どんな方が利用しているかわかれば教えてください。また、昨年度の実績も分かれば教えてください。</li> <li>②フジロックフェスティバルのシャトルバス一般開放について、現時点の料金案があれば教えてください。</li> <li>③苗場線の夜間増便について、昨年も実施したということですが、その実績を教えてください。</li> <li>④関越自動車道谷川 PA へのデジタルサイネージ設置についての費用がどれくらいか可能であれば教えてください。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①について、どのような利用をしているか確実なところは不明ですが乗降車数が多いバス停は、湯沢駅と保健医療センター前なので、通院を目的に利用されている方が大半かと考えています。</li> <li>・ ②については、昨年度の運行では湯沢駅から会場の苗場まで往復で 2,000 円でしたのでその水準で検討しているところです。</li> <li>・ ③について、去年は湯沢駅から苗場行きが 20 時台と 21 時台に 1 便ずつ、苗場から湯沢駅行きが 20 時台に 1 便で運行していましたが、実績としては、湯沢駅から苗場行きの 20 時台が 13 日間の実施で延べ 232 人、21 時台が延べ 163 人、苗場から湯沢駅行きが 11 日間の実施で延べ 29 人という利用者数でした。</li> <li>・ ④については、物品の他に、表示する情報の作りこみに応じた費用となっていて、現在、表示する情報を調整中なので、現時点では具体的な金額が申し上げられない状況です。</li> </ul>
綿貫委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗場線の夜間増便について必要だと感じているが、去年は旅館や民宿などへの情報提供が直前になってからだったので、決定した際には、早めに情報提供をしてほしい。</li> <li>・ フジロックシャトルについて、苗場方面だけでなく、岩原、中里方面への運行も検討しているとのことだが、苗場行きの便の内、何便くらいがそちらの方へ回る想定ですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗場線の夜間増便については、早めの情報提供に努めたいと考えています。</li> <li>・ フジロックシャトルについては、岩原や中里といった方面への便は、苗場行きの本線とは別系統を検討しています。シャトルバスが各方面へも展開することで、宿泊施設が不足しているという課題を補いたいという意図があります。</li> </ul>
佐野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本版ライドシェアについて、1 週間を平均して不足する 4 台としているようですが、週末はもっと多くの台数が必要だと見込まれているので、例えば 6 台くらい備えておいて 4 台で稼働するということはできないのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のところ予備的な車両を確保することは考えていませんが、試行した中で、台数の変更も可能なので改善をしていきたいと考えています。</li> </ul>

田村会長	・ 他にないようでしたら、議題1について承認して良いか。
委員	(異議なし)
	・ 議題1について承認された。
(議題2 利便増進計画の策定について)	
田村会長	議題2 利便増進計画の策定について、事務局から説明願います。
事務局	以下の資料に基づき説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2 利便増進計画の策定について</li> <li>・別紙 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)</li> </ul>
田村会長	・ 今ほど、事務局から説明のありました議題2利便増進計画の策定について、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。
田村会長	・ 意見がないようでしたら、議題2について承認して良いか。
委員	・ (異議なし)
	・ 議題2について承認された。
(3. その他)	
事務局	・ 次第の3その他ですが、事務局では、特に用意しておりません。委員の皆様から何かございますでしょうか。
川上委員 (代理) 関 課長補佐	・ 湯沢駅東口の運用について、現状いろんな事業者が入り混雑しています。白ナンバーの送迎バスが入っている状況もあります。安全面としても懸念が残るので今後は改善を図っていただければと思います。
岡委員	・ シャトルバス協議会としても、指摘いただいた点について、冬を迎える前から町と相談をしていたところですがこの冬までには改善に至る結論が出せなかったという状況です。利便増進計画にも東口の再編を見据えたということも記載してもらっていますし、一番はお客様の安全性と利便性だと思うので、この冬は何とか乗り越えた上で、引き続き検討を進めていきたいと思っています。
事務局	・ 東口の大幅なリニューアルできるかどうかという点ではありますが、検討を進めていきたいと考えています。
庭野委員	・ 苗場線や5番線(シャトルバス)に向かうお客さんが非常に多いと感じています。バス停もそれほど離れたところに無い状況なので、現場は非常に混雑をしています。東口のエスカレーターのところでお客さんが滞留すると危険ではないかとも感じています。人の流れを分散させるために、時間帯によってバス停を変更するなどの策ができないかと感じています。
事務局	・ 観光まちづくり機構の方でも、バス停の案内やお客さんの整理等をしてもらっていますが、大変混雑しているので確かに時間帯によって対策しなければいけないという状況があると思っています。昨年度についてはエスカレーターの付近まで列が連なるという状況はなかったと思います。ただ昨年にも増してインバウンドの方が増えているので、今の東口の構造の中でどうできるかということを検討していきたいと考えています。

事務局

- ・ 他に何もなかったら以上を持ちまして、令和6年度第2回湯沢町地域公共交通活性化協議会の会議を終了させていただきます。
- ・ 本日は、お忙しいところ大変ありがとうございました。引き続きよろしく願いたします。